

高知市高齢者憲章

平成7年4月1日制定

- 1 高齢者が、生き生きとした人生を送れるよう、心身の健康と安定した暮らしが守られるまちにしましょう。
- 2 高齢者が、長年にわたり社会の発展に貢献してきた者として、敬愛されるまちにしましょう。
- 3 高齢者が、培ってきた豊かな知識と経験が、家庭や地域社会で役立てられるまちにしましょう。
- 4 高齢者が、地域の人々との交流と温かいふれあいの中で、共に支えあえるまちにしましょう。
- 5 高齢者が、生涯通じて学び、生きがいをもって人生を過ごせるまちにしましょう。

高知市老人クラブ連合会の理念

高知市老人クラブ連合会は、ますます高齢化が進む中で、高知市のあるべき姿について定めた「高知市高齢者憲章」にある高齢者のためのまちづくりに大いに賛同します。

唯一の高齢者団体として、この憲章の精神を真摯に受け止め、自分達はもちろんのこと、これから後に続く子供達や孫達のためにも大切な取組であることを、世代間の共通認識となるように努力をします。

そして、高齢者を取り巻く厳しい社会情勢に対応した老人クラブの在り方を模索しつつ、高齢者の地位と福祉の向上を目指し、安心で安全なまちづくりに貢献します。

高知市老人クラブ連合会の重点目標

- 1 「健康・友愛・奉仕」活動の推進
- 2 単位老人クラブの会員増強と活性化
- 3 単位老人クラブの後継者育成
- 4 市老連ブロック活動および専門部活動の強化
- 5 市老連活動の組織強化と多面的な事業・活動の展開
- 6 交通死亡事故防止活動の推進

高知市老人クラブ連合会会長表彰

令和 8 年度 市老連役員受賞者名簿

ブロック名	クラブ名	役 職	氏 名
三里	種崎一区千笑会	理事	山岡 富子
長浜第一	瀬戸西団地第一寿クラブ	理事	中平 正和
鴨田	あったかクラブ	理事	西岡 知江

令和 8 年度 優良老人クラブ会員受賞者名簿

ブロック名	クラブ名	役 職	氏 名
朝倉	朝倉三和会第三老人 クラブ	会長	宮田 登
朝倉	若草ほのぼの会	会計	門田 寿子

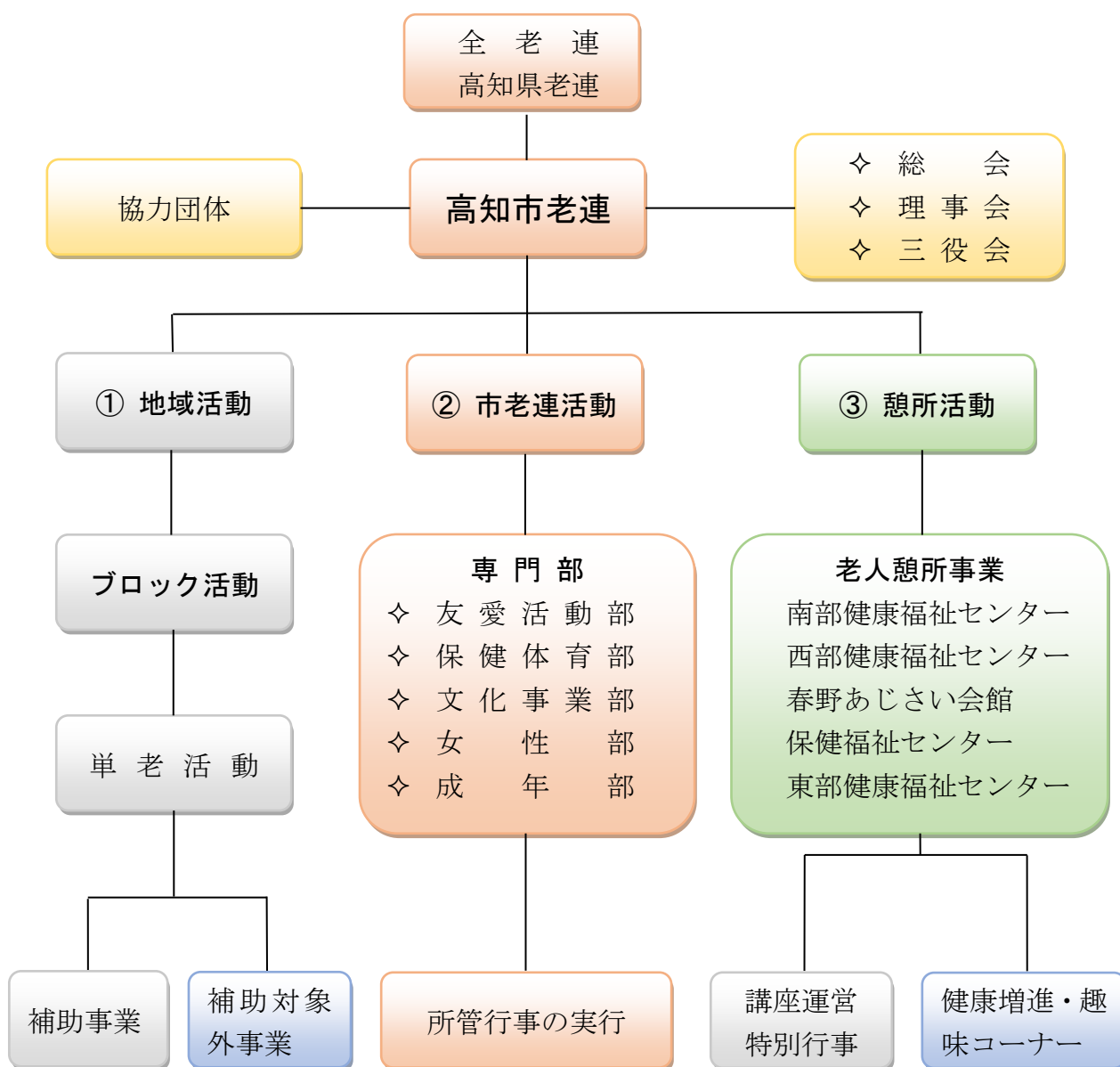
令和7年度事業報告

I 市老連の事業推進体制

高知市老人クラブ連合会（以下「市老連」という。）は、会員はもちろんのこと 60 歳以上の市民を対象に「健康・友愛・奉仕」活動の推進のために、下図の三事業体制で活動を行いました。

一つ目はブロック活動と単老による地域活動、二つ目は 5 専門部が企画する市老連独自の事業活動、三つ目は 60 歳以上の高知市民を対象にした老人憩所活動です。

図1 市老連の事業推進体制



Ⅱ 市老連の現状と課題

高知市の老人クラブは、この半世紀を越える歴史の中、『健康・友愛・奉仕』を理念として、百歳体操等の健康維持増進や閉じこもりがちな高齢者の連れ出し、あるいは、公園清掃等の共同作業、生涯学習による会員同士の交流など、地域に住む高齢者が生きがいをもって豊かに暮らせるよう様々な活動に取り組んでまいりました。

この間、人々の生活は多様化し、趣味や生涯学習においても様々な選択肢が用意され、老人クラブに加入しなくとも自己欲求を満たすことができる社会となりました。また、コロナ禍や退職後の高齢者の就業率の増加も相まって図1に示すようにクラブ数、会員数も減少の一途をたどっており歯止めがかかっていない状況となっております。

さらに、高齢化による免許返納等により社会参加活動の範囲が狭くなり、日々の見守りや友人同士のお付き合いもままならなくなるなど、孤立世帯の増加が予測されており、なるべく住居に近い場所での活動機会が必要となっており、老人クラブの存在意義があらためて見直される時期にきていると思われまます。

一方で、新規クラブの結成やクラブの再開、あるいは、会員が大きく増加したクラブもあり、また、クラブ会員限定の生き生き大学への参加者数が近年最高となったことや、老人クラブ活動、ミニデイ事業、また、定例講座や自主講座の令和7年度の延べ参加者数は13万人を超えており、コロナ禍で落ち込んでいた社会参加活動は回復基調にあるのではないかと推測されます。

7ページのグラフに示すように、令和3年度から7年度までに休止あるいは解散したクラブは34クラブとなっております。この要因としては、主にクラブの要となる会長の後継者がいないことや、高齢化による会員の減少あるいは、会計事務の困難さなどによるものですが、クラブ数の減少が続くことにより、高齢者の社会参加への影響も危惧されるところであります。

今後持続可能な老人クラブにするためには、特に会長等役員の負担軽減を図ることによって後継者のなり手不足を解消することが重要となります。各クラブの会計や補助金申請事務の支援や事業活動の相談、あるいは、会員増への取り組みをサポートする支援体制の構築が強く望まれます。

図1：市老連のクラブ数と会員数の推移

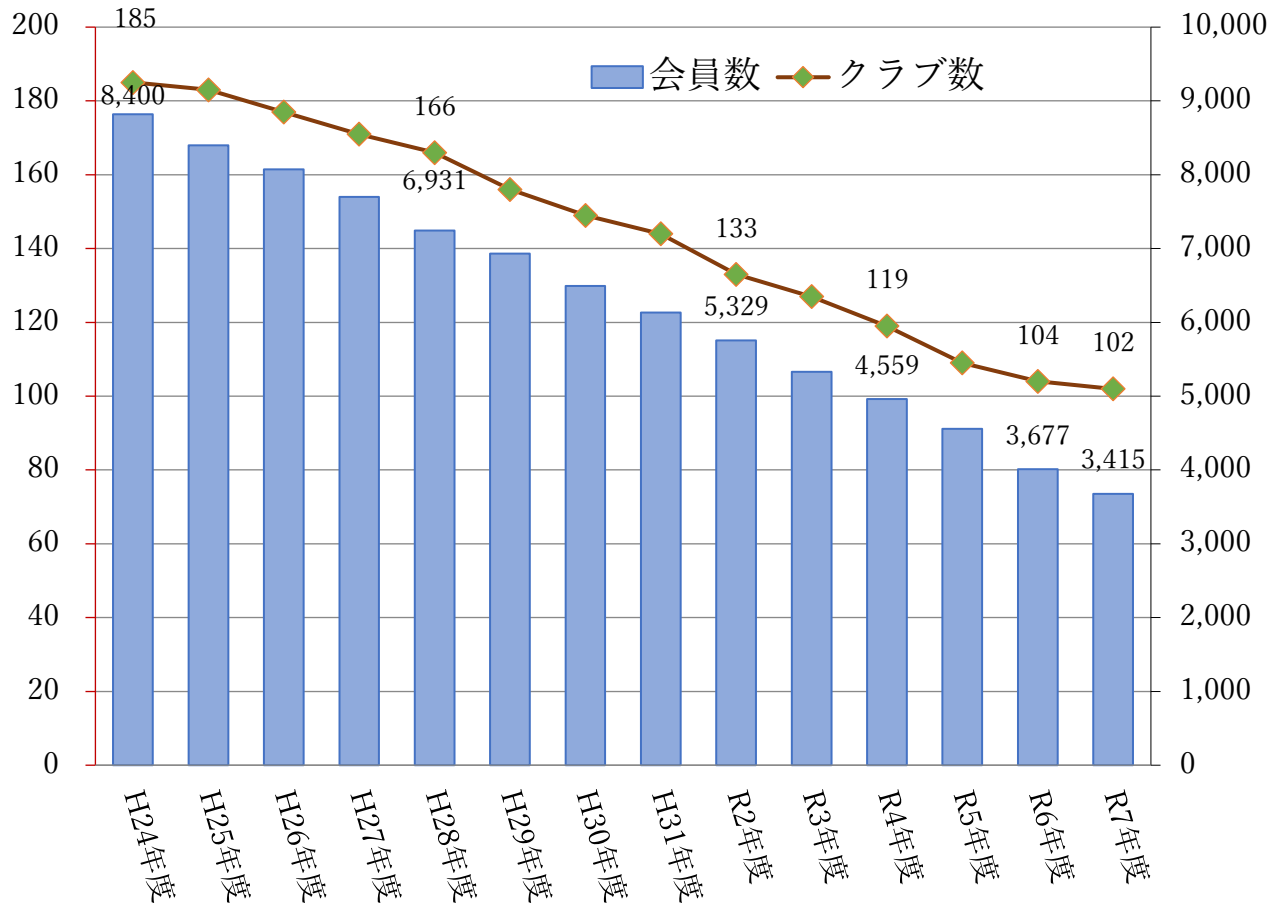
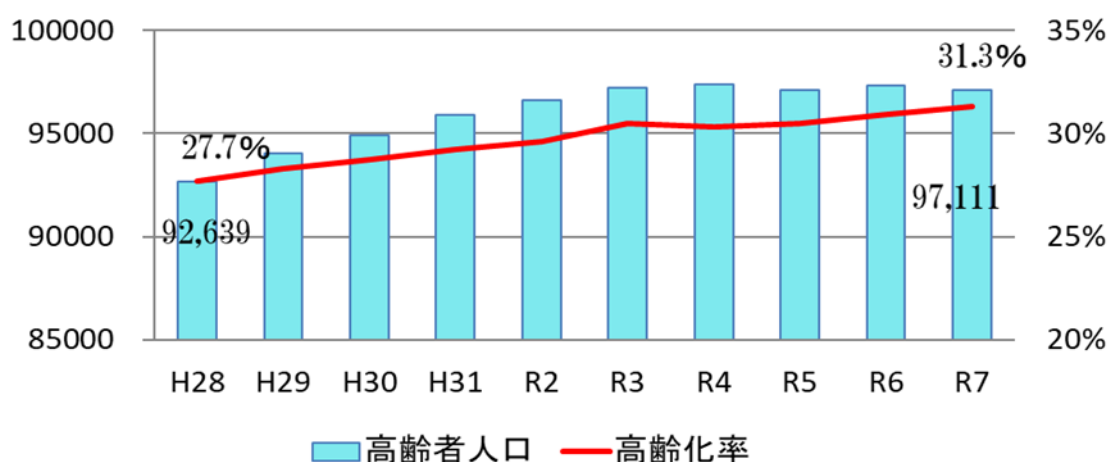


表1：令和7年度 ブロック・クラブ・会員数比較

	令和6年度	令和7年度	増減
ブロック数	17	17	0
クラブ数	104	102	-2
① 会員数(人)	3,677	3,415	-262
② 高知市人口(人)	314,116	310,029	-4,087
③ 60歳以上人口(人)	117,580	117,434	146
④ 65歳以上人口(人)	97,321	97,111	210
老人クラブ加入率(%) ①/③	3.12%	2.90%	-0.22%
クラブ未加入者数(人) ③-①	113,903	114,019	116
高齢化率(%) ④/②	30.9%	31.3%	0.4%

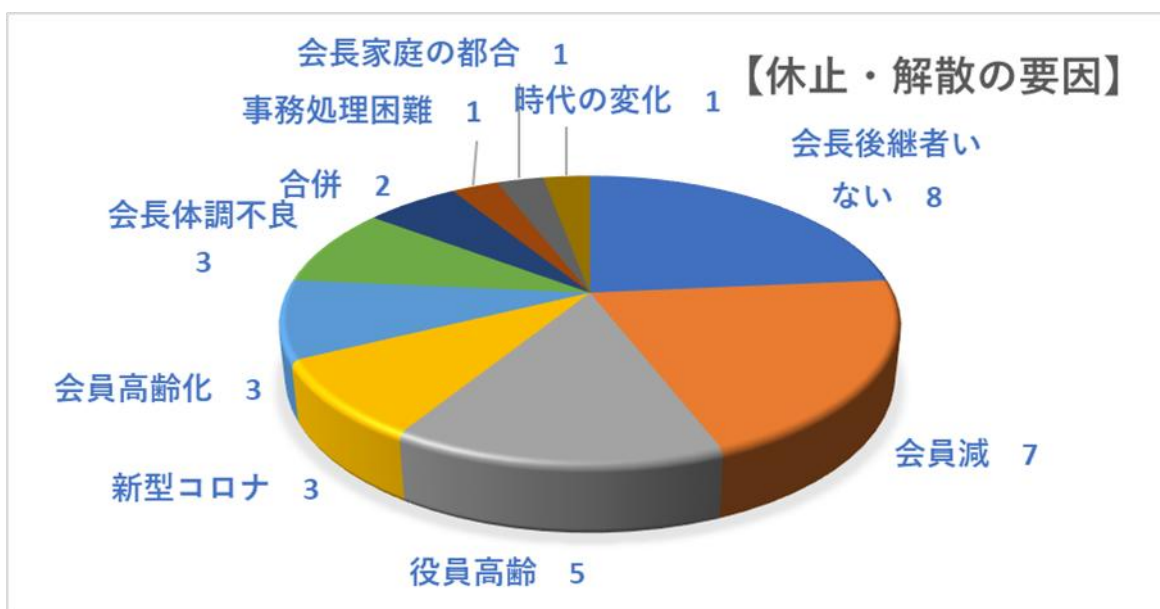
※ 令和7年度の高知市人口は令和7年4月1日の人口データを適用

高知市高齢者人口と高齢化率の推移



○ここ5年間（令和3年度～7年度）のクラブ休止・解散の状況及びその要因

令和3年度	6クラブ
令和4年度	10クラブ（うち解散4）
令和5年度	10クラブ（うち解散2）
令和6年度	5クラブ
令和7年度	3クラブ
計	34クラブ



この5年間で34クラブが休止・解散に追い込まれています。
その要因は、ほとんどが会長等役員の高齢化により後継者がいないことや新規加入者の不足によるものであり、クラブをサポートする手立てが喫緊の課題となっています。

Ⅲ 高知市老人クラブ連合会の事業活動

1 地域における事業活動

(1) ブロック活動の状況

市老連活動の柱であるブロック活動では、地域の老人クラブ会長が集まり、連携を深め地域活動を強化し、活性化を図る目的で「ブロック研修会」を開催しています。

本年度は昨年同様、8ブロックが研修会を実施し、269名の方々が参加しました。

表2：各ブロックの研修会の実施内容

ブロック	実施日	場 所	講 演 内 容 等	人数
三里	4月6日	セリーズ	「医者にかかる10箇条」	65
高須	5月24日	高須公民館	「あなたもできる救命活動」	21
潮江南	6月26日	高知医療生協潮江支部	「体の痛みとの付き合い方」	24
鏡	7月13日	高知市鏡構造改善センター	「生活習慣病と熱中症対策の関係」 「フレイルについて」	22
長浜第一	10月6日	瀬戸東町大ホール	「戦争と少年～私の少年時代」	61
朝倉	9月20日	朝倉ふれあいセンター	「特殊詐欺について・事故防止について」	17
旭	10月11日	木村会館	「自転車の交通ルールについて」	36
鴨田	2月22日	西部健康福祉センター	「自分らしいしまい方」	23
参加者数合計				269

ブロックで行われる研修会には、市老連から研修会に対し1万円、同時にブロック強化費として1単老当たり千円の支援をしており、令和7年度は実施8ブロックに対して合計124,000円を支援しました。

(2) 単位老人クラブの活動内容

令和7年度は、市内17ブロックで102クラブ、会員数3,415名で活動しました。

101のクラブ活動に対し、高知市からは4,848千円の補助を受け、各クラブは様々な活動に取り組みました。

① 補助対象事業

補助対象事業の主な活動として、公園清掃・子ども見守り隊・施設訪問等の「奉仕活動」や、スポーツ・体操会等の「健康増進活動」、また会報発行や交通安全・振り込め詐欺防止などの「研修活動」を実施しています。

- ・ 市内七河川一斉清掃への協力

毎年行われている七河川一斉清掃には全老人クラブにボランティアの協力をお願いしています。

- ・ 「南国土佐観光開き」への協力
 (社)高知市観光協会の事業である「南国土佐観光開き」清掃には、はりまや橋と桂浜周辺の老人クラブと女性部が清掃奉仕に参加・協力をしています。

② 補助対象外事業

補助対象外事業は、会員からの会費や町内会・地区社協の助成金・寄付金をもとに多彩な事業を実施しています。これまでの主な事業内容は、「バザー」「日帰り旅行」「敬老会」「夏祭り」「花見」「史跡めぐり」「農作業」「害虫駆除」「老人ホーム餅つき」「他クラブ交流」「資源ごみの回収」「空き缶拾い」「子ども会・保育園との交流」「町内会役員との交流」「防災訓練」その他、地域の実情に合った多様な活動を展開してきています。

2 市老連の活動実績

二つ目の柱である市老連の主催事業は、各5専門部委員会で検討し実施しました。地域の高齢者を支えあうミニデイサービス事業等で6,915人、生き生き大学370人、スポーツ事業で273人、その他後援事業等への参加者1,782人、年間延べ9,340人の参加者でした。

以下に、個別の行事の概要をまとめます。

(1) 会議

① 理事会（会場：南部健康福祉センター）

○第1回理事会（出席者18人、その他2人）

日時 令和7年5月29日（木）13時30分～

議題 市老連会長表彰

令和6年度事業報告

令和6年度決算報告及び債権整理並びに監査報告

役員改選

その他

○第2回理事会（出席者22人、その他2人）

日時 令和7年6月30日（月）13時30分～

議題 (1) ①市長との懇談について(令和7.5.8)

②補助金交付要綱の一部改正内容

(2)令和7年度老人クラブ補助金交付について

(3)その他

② 三役会 毎月第1火曜日(会長・副会長・事務局長)

理事会、総会に諮るべき事項の審議及び本会の事業活動・運営に係る事項について会議を行いました。

③ 幹部研修会

各老人クラブ会長にご案内し、毎年1回幹部研修会を開催しています。研修終了後に本年度も高知市高齢者支援課から中島課長と宮本係長、横山さんに来ていただき、補助金申請書の様式や手続きについての説明会を開催しました。

○幹部研修会並びに補助金説明会(出席者 74 名)

日時 令和 8 年 3 月 6 日 (金) (会場：南部健康福祉センター)

研修 「心と身体をほぐす健康体操」

日本健康運動士会高知県支部理事

濱田泰行さん

④ 専門部会

市老連には専門部会がありますが、友愛活動部、保健体育部、文化・事業部、女性部、成年部の五つとなりました。

各専門部は、市老連の事業を分担し、事業の実施前には各担当が企画・運営方法等について打ち合わせを行い、事業の推進にあたっています。

(2) 他団体との連携事業

市老連は、外部の関係団体から永年の活動実績を評価され、社会問題化している交通安全や介護問題、社会福祉等に関して会議への参加を要請されています。

以下のような会議があり、市老連会長、副会長、事務局長で対応しました。出席要請された会議では、主に高齢者と市老連の立場に立ち、社会的な理解を求めるとともに情報を得ることに努めました。

○ 会長担当の会議

- ・ 高知市社会福祉協議会理事会
- ・ 高知県交通安全推進県民会議委員
- ・ 高知県少子化対策推進協議会
- ・ 「よさこい高知文化祭 2026」高知市実行委員会委員

○ 副会長担当の会議

- ・ 高知市医療安全推進協議会
- ・ 高知市高齢者保健福祉計画推進協議会
- ・ 高知市市民憲章推進協議会
- ・ 高知県道路交通安全推進連絡会議
- ・ 高知市福祉有償運送等運営協議会

○ 事務局長充職

- ・ 高知市国民健康保険運営協議会
- ・ 高知県交通安全推進県民会議交通安全推進幹事
- ・ 高知警察署交通安全対策連絡会議
- ・ 高知県電動車椅子安全利用促進連絡協議会
- ・ 暴力追放高知市民会議
- ・ 高知県安全安心まちづくり会議
- ・ 高知市生活支援体制整備事業における協議体
- ・ 高知市交通安全市民会議
- ・ 高知市災害ボランティアネットワーク会議

(3) 専門部の事業活動

① 友愛活動部の事業活動

○ 友愛活動推進員研修会等

本年度も下記のとおり、ミニデイの代表者や推進員を対象に、各分野から講師を招き研修会等を実施しました。

参加者は延べ160名でした。

5月16日 ミニデイ推進員代表者会（参加者37人）

- ・令和7年度ミニデイサービス活動予算配分(前期)について
- ・「みんな健康で元気に」

高知市健康増進課

濱田知加さん

6月20日 友愛活動部会(総会)及び研修会（参加者33人）

- ・部会(総会)
- ・研修：「熱中症の予防と貯筋!!」

高知県立大学社会福祉学部

辻真美さん

10月31日 友愛活動部推進員研修会及び活動費配分(後期)(参加者44名)

- ・令和7年度ミニデイサービス活動予算配分(後期)について
- ・研修「地域包括支援センターってどんな相談ができるが？」

高知市基幹型地域包括支援センター 坂口友康さん

2月20日 友愛活動部推進員研修会(参加者46名)

- ・研修「特殊詐欺の被害防止について」

高知南警察署生活安全課

濱口英治さん

○ 地域交流ミニデイサービス事業

この事業は市から委託されている事業で、市老連の友愛活動の中核事業となっています。推進員の皆さんの工夫と地道な努力に支えられて、参加者に楽しい場が提供されており、閉じこもり、寝たきり、認知症の予防に大きな役割を果たしています。

実施期間 令和7年4月～8年3月

実施場所 市内28ヶ所で延べ521回実施

利用者 年間利用者数6,915人

なお、地域で取り組んでいる箇所は、資料編10ページに掲載していますので、ご参照ください。

② 保健体育部の事業活動

○ 第18回グラウンド・ゴルフ大会

雨上がりの朝、秋晴れの心地よい環境の中、高知市グラウンド・ゴルフ協会の協力のもと開催しました。

□日時 令和7年11月6日(水) 8時30分～

□会場 高知市東部総合運動場「多目的広場」

□参加者 老人クラブ会員及び選手 52人

○ 第1回ワナゲ大会

明るく元気に健康増進を図ることを目的として開催しました。

- 日時 令和7年10月10日(金) 13時30分～
- 会場 南部健康福祉センター 2階ホール
- 参加者 老人クラブ会員 23名

○ 健康まつり

今年度も一カ所参集型ではなく、ブロックと事務局が企画し、地域の皆様が参加しやすいブロック別での健康まつりを開催しました。

<三里地区>

- 日 時 令和7年10月5日(日) 13:30～15:30
- 会 場 高知市三里文化会館1階ホール
- 参加者 スタッフ(64名)含めて約150名
- コーナー 高知市社会福祉協議会ボランティアPR・高知市三里地域包括支援センター相談・血管年齢測定・クイックアーム・クイックステップ・体内年齢・骨量測定・フレイル検査・ストレス測定・姿勢チェック
血圧測定・健康お薬相談・スマホお助けコーナー・ゲームコーナー(ワナゲ・スポーツスタッキング)
- 講 演 「今日から始める健康体操」
講師 健康運動指導士 岡田万菜実 先生

○ 第26回「無事故・無違反チャレンジ100」

この事業のおかげで市老連に加入している老人クラブ会員は、一般の高齢者に比べ事故率が低いと警察等の関係団体から高く評価をいただきました。

- 期 間 令和7年9月25日(木)～令和8年1月2日(金)の100日間
- 参 加 30チーム、150人
- チャレンジ達成 29チーム (参加チームの達成率96.6%)
- 出発式 令和7年9月25日(木) 10時～ 参加者49名
- 表彰式 令和8年2月13日(金) 10時～ 参加者48名
表彰状及び記念品の贈呈
研修会 交通安全研修会「高齢者交通安全」
講師 高知南警察署交通課長 秋山 亘稔氏

③ 文化・事業部の事業活動

○生き生き大学

新しい仲間づくりと心豊かな生活の実現を願って、本年度は55人の生徒が12の講座を受講し、幅広い学習を行いました。

- 期 間 令和7年6月～令和8年3月
- 受講生 370人(延べ人数/年間)

□講座 12講座

年間の学習内容は、資料編9ページに掲載しています。

○ 「市老連だより」の発行（8月・2月の年2回、各5,800部発行）

文化部が中心となり、市老連の行事や各老人クラブ・ミニデイ等の活動報告のほか、会員からの投稿・写真などを掲載し、全会員と関係機関に配布し活動内容をお知らせしました。今年の2月号で、第90号の発行となりました。

○ 会員加入勧誘チラシの配布

会員増強のため新規に介護保険に加入申請される市民を対象にした勧誘チラシを作成し、市の協力を得て配布をしていただき、会員の増加に努めました。

④ 女性部の事業活動

○ 花の植え替え

女性部の会員は、ボランティアとして高知市に協力し、メインストリートや公園の花壇で季節の花の植え替えを行い市民や観光客に喜ばれています。

6月17日（火） ・五輪花壇（高知城周辺） 10名

11月7日（金） ・市民花壇（城西公園） 6名

今年度も女性部16名で環境美化活動を行いました。

○ ボランティア活動

今年度も南部健康福祉センター周辺の草引きや清掃を行いました。

センターに来ていただいた方に喜んでもらいたいという意見があり、センター内に花壇を作り、花壇係が日々お世話をしています。

去年度から、南国土佐観光びらき清掃にも参加しています。

7月1日（火） ・南部健康福祉センター内清掃 8名

11月18日（火） ・南部健康福祉センター花植え 8名

1月28日（水） ・南国土佐観光びらき清掃（高知城周辺） 7名

水やりや草引きは花壇係が来所時作業

⑤ 成年部の事業活動

成年部は、高齢化する市老連の組織の若返りと後継者の育成を目的に団塊世代や若手を対象にした事業を行っています。

○ 第2回カラオケ大会の開催

成年部会で「皆さんに楽しんでもらえる新しい行事を」と話し合い、カラオケ大会を開催しました。

□日時 令和7年7月11日（金）13時～

□会場 南部健康福祉センター2階ホール

□参加者 24名（応援者約30名）

○ 健康ウォーキング大会の開催

今回 17 名の方が初参加で、鏡川で泳ぐ魚を眺めたり、木の名前を教え合ったり、周りの景色を楽しみながら全員完歩しました。

第 38 回健康ウォーキング新春鏡川コース

□日 時 令和 8 年 1 月 24 日 (土) 9 時～

□コース 紅葉橋周回コース (約 6 キロ)・新月橋コース (約 3 キロ)

□参加者 44 名 (6 キロコース 26 名 3 キロコース 18 名)

○ 第 11 回ボウリング大会

2 ゲームでの対戦で、ガーター連発、ストライク連発、ピンの間を抜けていくなど様々な結果でしたが、皆さん爽やかな汗をかき楽しい時間を過ごしました。

□日 時 令和 7 年 9 月 19 日 (金) 13 時 30 分～

□会 場 ボウルかつらしま

□参加者 23 名

(4) その他の事業活動

① 広報活動

○ ホームページの運営

市老連の活動を広く知って頂くために、高知市老人クラブ連合会のホームページを随時更新しながら運営しました。

内容構成は「市老連について」「地域老人クラブ」「ミニデイ事業」「憩所ニュース・市老連だより」「講座案内」「イベント案内」「交通アクセス・活動施設案内」「お知らせ一覧」として掲示していますので、ぜひご覧ください。

ホームページアドレス：<https://kochi-shirouren.com>

IV 老人憩所の事業活動

市老連活動の三つ目の柱である老人憩所事業は、昭和 48 年 7 月から業務を開始しており、市内の高齢者にとって重要な拠点となっています。

南部健康福祉センター老人憩所、西部高齢者いきいきセンター、春野あじさい会館、高齢者ふれあいセンター、東部高齢者いきいきセンターの 5 拠点の事業概要は以下の通りです。

1 南部健康福祉センターの運営

(1) 老人憩所の講座

① 定例講座 初心者を対象に月 2 回程度開いており、材料費を除き無料です。

15 講座 (洋裁、折り紙、絵手紙、ピラティス、コーラス、フラダンス、ヨーガ、真向体操、つまみ細工、ゆる体操、らくらく英会話、ビーズアクセサリ、太極拳、ととのえる体操、すこやか運動)

講座数 285 回 延べ出席者 3,164 人

- ② **自主講座** 次の講座を開設しています。(有料)
35 講座(手作り手芸、折り紙、絵手紙、民踊、ヨーガ、フラダンス、コーラス、カラオケ、詩吟、茶道、華道、書道、陶芸、洋裁、箏曲、社交ダンス、囲碁、3B体操、太極拳、ビーズ編物、健康体操)
講座数 751 回 延べ出席者 7,646 人

(2) **囲碁・将棋コーナーと健康増進室の利用**

南部健康福祉センターの囲碁・将棋コーナーは 4,746 人、健康増進室の利用は 1,782 人で延べ利用者は 6,528 人でした。

(3) **憩所ニュースの発行**

企画委員会で検討した日程の確認や市老連が主催する行事予定および行事報告等を載せ毎月発行しました。発行部数 1,000 部

(4) **老人憩所の特別行事**

① **世代間交流 第 47 回こどもの日の集い**

□日時 令和 7 年 5 月 1 日(木)

□参加者 61 人

② **第 47 回戦争と平和を語る会**

□日時 令和 7 年 8 月 7 日(木)

□講師 琴寄 學さん

□参加者 41 人

③ **世代間交流 敬老の日のお祝い会**

□日時 令和 7 年 9 月 12 日(金)

□参加者 15 人

④ **世代間交流 第 52 回豆まき集会**

□日時 令和 8 年 2 月 3 日(火)

□参加者 76 人

(5) **令和 7 年度シニア文化祭の開催**

憩所講座で作品制作及び芸能レクリエーション活動を通じて、高齢者が自らの健康増進と生きがいづくりや余暇活動の充実を図るとともに、発表の場を設けることにより、高齢者相互の親睦を深め、組織の輪を広げることがを目的とし、実行委員会形式により開催しました。

□日 時 令和 7 年 11 月 11 日(火) 10:00~15:00

11 月 12 日(水) 10:00~12:00

□参加者 延べ 399 名

2 西部健康福祉センター高齢者いきいきセンターの運営

(1) 高齢者いきいきセンターの講座

高齢者いきいきセンターでは、7つの定例講座を開設しており、主に鴨田、朝倉、旭、初月、鏡の市民が参加しています。

また、健康増進器具が整っており健康の維持を図るとともに、囲碁・将棋室で自由に過ごしていただくことができます。

来館者数は延べ23,979人となっております、地域に定着しています。

□定例講座 7講座（ヨーガ、太極拳、かんたん健康体操、オカリナ、いきいき脳活、やさしい家庭料理、たのしい俳句）

講座数 140回 延べ出席者 1,838人

□一般講座延べ来館者 延べ18,981人

(2) 囲碁・将棋室と健康増進室の利用

西部健康福祉センターの健康コーナーでは1,395人、同娛樂室で1,765人の方々の利用がありました。

3 春野あじさい会館の講座

春野あじさい会館では、主に春野町周辺の市民を対象に健美操、頭のトレーニング、肩腰膝痛改善運動の3つの定例講座を開設しました。

□定例講座 3講座（健美操、頭のトレーニング、肩腰膝痛改善運動）

講座数 50回 延べ出席者 540人

4 高齢者ふれあいセンターの講座

高齢者ふれあいセンターでは、5つの定例講座を開設しており、主に江ノ口、薊野、秦、一宮の市民が参加しています。

□定例講座 5講座（俳句、健美操、みんなで歌って若返り、太極拳、ヨーガ）

講座数 80回 延べ出席者 737人

5 東部高齢者いきいきセンターの講座

高齢者いきいきセンターでは、4つの定例講座を開設しており、主に高須、介良、大津、五台山の市民が参加しています。

□定例講座 4講座（太極拳、実用書道とペン字、ヨーガ、童謡・愛唱歌・高知のうた）

講座数 72回 延べ出席者 875人

V 高知市老人クラブの高齢者福祉への寄与度（健康・友愛・奉仕）

事業区分	延べ活動人数（概数）	備考
単位老人クラブ	78,091 人	102 クラブ 3,415 人
ブロック研修会	269 人	
ミニデイサービス事業	6,915 人	28 カ所
生き生き大学	370 人	生涯学習の場
後援事業への参加	1,782 人	
友愛活動部研修	160 人	
グラウンド・ゴルフ大会	52 人	
室内スポーツ練習	131 人	
無事故無違反チャレンジ100	128 人	高齢者交通事故防止企画
ワナゲ大会	23 人	
健康ウォーキング	44 人	
ボウリング大会	23 人	
カラオケ大会	24 人	
憩所定例・自主講座事業	10,810 人	50 講座
憩所囲碁、将棋、健康コーナー	6,528 人	
特別行事参加	193 人	世代間交流他
シニア文化祭	399 人	
西部健康福祉センター講座	18,981 人	
西部囲碁・将棋、健康コーナー	3,160 人	
春野あじさい会館講座	540 人	
高齢者ふれあいセンター講座	737 人	
東部高齢者いきいきセンター講座	875 人	
県老連主催事業	140 人	スポーツ大会等
計	130,375 人	

VI 令和7年度市老連その他の取り組み

1 高齢者交通死亡事故防止への協力

近年、交通事故が大幅に減少している中、発生した交通死亡事故のうち高齢者の割合が6割以上を占め、また、加害者としても重大事故を引き起こす事態が続き、大きな社会問題となっています。

高齢者の事故防止のためには、運動機能の低下を前提にした安全運転や目立つ服装に気を付けること。運転者においては、加齢による身体機能の低下や家族から不安がられる場合は、運転免許返納支援での特典を生かした免許証返納の推奨をしています。いずれにしても県警、行政機関、安全協会等が催す行事にも積極的に参加し、新たな知識や情報を得て日常生活に活かすことが肝要です。

今年度はミニデイ 14 箇所において、交通安全教室等を開催し研修を行いました。

- ・ 地域での高齢者交通安全教室の開催と参加
- ・ ミニデイ関係 北街社協会館、田辺島公民館、南部健康福祉センター、トーメン団地集会所、大津舟戸公民館、小高坂更生センター、小高坂小学校、えぼし公民館、長崎公民館、県住鴨部集会所、春野公民館秋山分館、春野公民館仁ノ分館、高須公民館、一宮ふれあいセンター
- ・ 春・秋・年末年始の交通安全運動への参加
- ・ 昼間ライト点灯運動への協力

2 県老連との事業活動

(1) 高知県老人クラブ連合会との主な事業連携

平成 27 年 4 月に県老連に復帰してから 11 年を経過しました。市老連は県老連へ理事 2 名と評議員 3 名を送り、現在小寺会長が県老連副会長に就任しています。

令和 7 年度の活動については、次表の通り 140 名が参加しました。

表 2：令和 7 年度 県老連活動表

日時	事業名・内容	要請数	参加数	備考
R7. 6. 11	ろうれんピック 2025 中部会場 (室内 3 種の競技大会)	公式ワナゲ、フロッカー、 ボッチャ 計 37 名		春野総合運動公園 大アリーナ(体育館)
R7. 10. 15	ろうれんピック 2025 中部会場 (室外 3 種の競技大会)	ペタンク、 グラウンド・ゴルフ モルック 計 38 名		春野総合運動公園 運動広場 C・D
R7. 11. 26	第 65 回高知県老人クラブ大会	5 名(受付)	9 名	ふくし交流プラザ 女性部受付参加
R7. 12. 10	元気ハツラツ&はちきん大会 (県老連女性委員・若手委員)	(誘導 5 名) (受付 3 名) (レイアウト 7 名) ダンス 9 名	38 名	春野ピアステージ 女性部手伝い・参加
R8. 1. 28	ろうれんピック 6 種競技 お試し会 (パワーアップ研修会)		4 名	五台山参加

(2) その他の事業連携

女性委員会、若手委員会、評議員会、理事会、事務連絡会が年に数回開催され、各イベント時には、各々の実行委員会への参加要請がありました。また、事務局の打ち合わせや小規模な交流として、若手委員会等の実施するハイキング、リーダー育成研修会等があります。

(3) 全老連の傷害保険及び賠償保険

平成 28 年 1 月から「市老連傷害保険制度」を廃止し、補償額がより有利な全老連の傷害保険及び賠償保険へと切り替えました。それから 11 年を経過し、更新手続きなども順調に進められるようになりました。

さらに未加入の方への勧誘に取り組み、積極的な活用をお願いします。また、傷害保険は単老単位に年 2 回（4 月・10 月）の加入に変更されました。未加入のクラブには検討をお願いします。

収入 (単位:円)

区分	事業名	令和7年度予算	令和7年度決算	差引増減	説明	
1	会費	832,000	816,000	-16,000	8,000円×102クラブ	
2	補助金	①高知市	15,308,960	13,320,792	-1,988,168	
		②高知市社会福祉協議会	105,000	70,000	-35,000	運営助成35,000円、健康まつり助成35,000円
		③高知県老人クラブ連合会	50,000	0	-50,000	
		計	15,463,960	13,390,792	-2,073,168	
3	委託料	30,792,552	28,890,976	-1,901,576		
4	負担金	852,000	568,900	-283,100	情報交換会会費、生き生き大学受講料	
5	寄付金	400,000	390,000	-10,000	個人、企業からの一般寄付	
6	雑入	31,000	40,520	9,520		
7	繰越金	444,488	0	-444,488		
収入合計 A		48,816,000	44,097,188	-4,718,812		

支出

区分	事業名	令和7年度予算	令和7年度決算	差引増減	説明	
1	補助事業	1) 管理事務費	6,510,997	5,584,871	926,126	
		①人件費	5,777,597	5,162,471	615,126	局長給与、社保料、福利厚生費
		②事務費	733,400	422,400	311,000	コピー機リース料等
		2) 広報活動費	258,000	226,470	31,530	市老連だより5,800部年2回印刷配付、憩所ニュース1,000部12回
		3) 保健体育活動費	585,000	430,241	154,759	健康まつり、グラウンドゴルフ大会、チャレンジ100
		4) 文化活動費	212,000	140,000	72,000	シニア文化祭、戦争と平和を語る会、世代間交流
		5) 成年部活動費	400,000	164,681	235,319	ボウリング大会、鏡川ウォーキング、カラオケ大会
		6) 地域支えあい事業費	8,388,963	6,774,529	1,614,434	
		①人件費	2,754,963	2,750,494	4,469	職員給与、社保料
		②消耗品費	200,000	200,000	0	
		③通信運搬費	230,000	230,000	0	声のお便り
		④研修費	260,000	134,400	125,600	ブロック研修
		⑤クラブ活動補助金	4,944,000	3,459,635	1,484,365	101クラブ
		7) リーダー養成事業費	50,000	0	50,000	県老連補助金
		8) 市社協助成金事業	35,000	0	35,000	囲碁・将棋大会
計	16,439,960	13,320,792	3,119,168			
2	自主事業	1) クラブ育成活動費	300,000	300,000	0	県老連負担金300,000円
		2) 会議費	903,488	1,061,092	-157,604	総会会場費、資料印刷費、役員費用弁償
		3) 生きがいづくり活動費	224,000	782,461	-558,461	
		①生き生き大学	224,000	121,709	102,291	講師謝金等
		②レジャー農園	0	660,752	-660,752	整地費用
		4) 女性部活動費	150,000	6,543	143,457	公園清掃等社会奉仕活動、公共花壇花植え
		計	1,577,488	2,150,096	-572,608	
3	委託事業	1) 講座運営受託事業	14,029,937	12,757,709	1,272,228	
		①老人憩所講座	6,422,859	5,840,494	582,365	講師謝金285回、職員給与、社保料
		②西部・あじさい講座	2,801,464	2,547,067	254,397	西部講師謝金140回、あじさい講師謝金50回、臨時職員賃金
		③北部講座	2,448,567	2,226,674	221,893	講師謝金80回、臨時職員賃金
		④東部講座	2,357,047	2,143,474	213,573	講師謝金72回、臨時職員賃金
		2) 施設運営受託事業	9,366,761	8,915,709	451,052	
		①老人憩所運営	2,850,963	2,852,494	-1,531	職員給与、社保料
		②西部運営	6,515,798	6,063,215	452,583	西部健康福祉センター長給与、社保料、駐車場整理委託
		3) ミニデイ事業	7,401,854	7,217,558	184,296	
		①人件費	3,571,854	3,920,226	-348,372	職員給与、社保料
		②事業費	3,400,000	3,150,812	249,188	ミニデイ28カ所
		③事務費	430,000	146,520	283,480	傷害保険
		計	30,798,552	28,890,976	1,907,576	
支出合計 B		48,816,000	44,361,864	4,454,136		
当期損益 A-B			-264,676		当期損益-264,676円は繰越剰余金で対応	